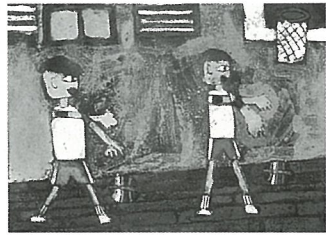




4年 伊藤 雄樹くん



『ほったり すったり』

※初めての木版画で、多色刷りに挑戦しました。ミニバスをしているところです。



1年 川野 真実さん



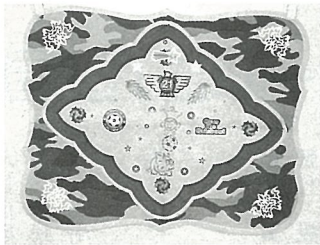
『しょうぼう車』

※がようしいっぱいに大きくなりました。いろいろぬりかたをくふうしました。

あつまれみんなの力作



5年 鈴木 翔太くん



『ランチマット』

※ぼくは、初めてミシンを使ったので、上手にはできなかったけど、力作です。



2年 加瀬 愛里さん



『お楽しみマンション』

※カッターナイフを使ってまどを作りました。いろいろな人が住んでいます。



6年 野村沙由里さん

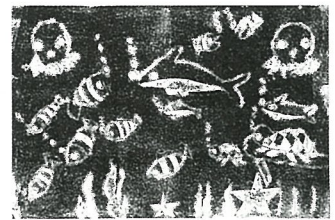


『カラフルくじゃく』

※できただけなくさんの色を使っようにしました。



3年 川上 佳純さん



『海のなかまたち』

※たかさんの海のなかまを入れました。かめのせなかのもようを工夫しました。



ひかり俳壇



布施 和代(二又)
一畝を返す力や春近し

吹く風は未だ身に沁みるが大地はもう春の訪れを告げている。春耕の感懐である

鈴木とし子(宝米)
降る雨の春へ近づく音なりし

表現、態度とも諷詠的であり下五の「音なりし」は春への待望感として共感を得た

川島 重一(尾垂)
慈母観音母となる娘に春の風

近く母となる娘と共に麗かな日に慈母観音へ参詣する。親心を春風に託して詠んだ

伊藤 幸枝(尾垂)
つつみ葉のほのかな香り桜餅

大木 素風(二又)
春一番ハウスの紐を締めつける

山崎 てい(二又)
畳への陽射し縮み来春近し

川島 通則(二又)
ランドセル背負ふて蹀ぐ児春近し

伊藤 雅子(尾垂)
やわらかき土のにはひや春間近

選者 椎名しげる

選者 春待てり剪定済みし樹木もまた